

# 産学連携と人材交流

三菱電機株式会社 上席常務執行役  
開発本部長 尾形 仁士

平成17年6月25日 第4回産学官連携推進会議 分科会「産学官連携の新たな展開」

# 三菱電機の研究所群

Information Technology Center Europe  
欧州研究所 (ITE) < 1995年設立 >

Mitsubishi Electric Research Laboratories  
米国研究所 (MERL) < 1991年設立 >  
( Cambridge , Massachusetts)

Telecommunication Laboratory (TCL)  
(Rennes , France)

Cambridge Research Lab.

Visual Information Laboratory (VIL)  
(Guildford , UK)

Cambridge Systems Lab.



国内研究所

Advanced Technology R&D Center  
先端技術総合研究所 (尼崎市)

Information Technology R&D Center  
情報技術総合研究所 (鎌倉市)

Industrial Design Center  
デザイン研究所 (鎌倉市)

# 三菱電機米国研究所での産学連携

## MERL : Mitsubishi Electric Research Laboratories

### 研究開発連携

- ・MERLと大学が基礎研究を実施し、その成果を基にMERLが応用研究開発
- ・MERLの基礎研究成果を大学と共同で応用開発
- ・開発品の大学への貸与
- ・大学との共同研究プロジェクト

IPR : 大学単独の成果は大学帰属、共同の成果は共有

### 人材交流

- ・インターン学生による研究開発(3ヶ月～1年)  
IPR : 全てMERLに帰属
- ・人材の交流(MERL研究者 大学教授)
- ・トップクラスのインターンを実習期間終了後に採用

# MERLのインターン採用実績

	2003年			2004年			2005年		
	3ヶ月未満	3~6ヶ月	6ヶ月以上	3ヶ月未満	3~6ヶ月	6ヶ月以上	3ヶ月未満	3~6ヶ月	6ヶ月以上
								期間未定者: 修士課程(1)、博士課程(2)	
学部生				1	1			2	
修士課程	8	3	2	7	2		4	1	2
修士取得	10	12	4	22	15		10	15	1
博士課程	5	12	1	10	9	1	12	9	1
博士取得	1	1	2	1			1		2
小計	24	28	9	41	27	1	27	27	6
合計	61			69			63		

# MERLのインターン出身国

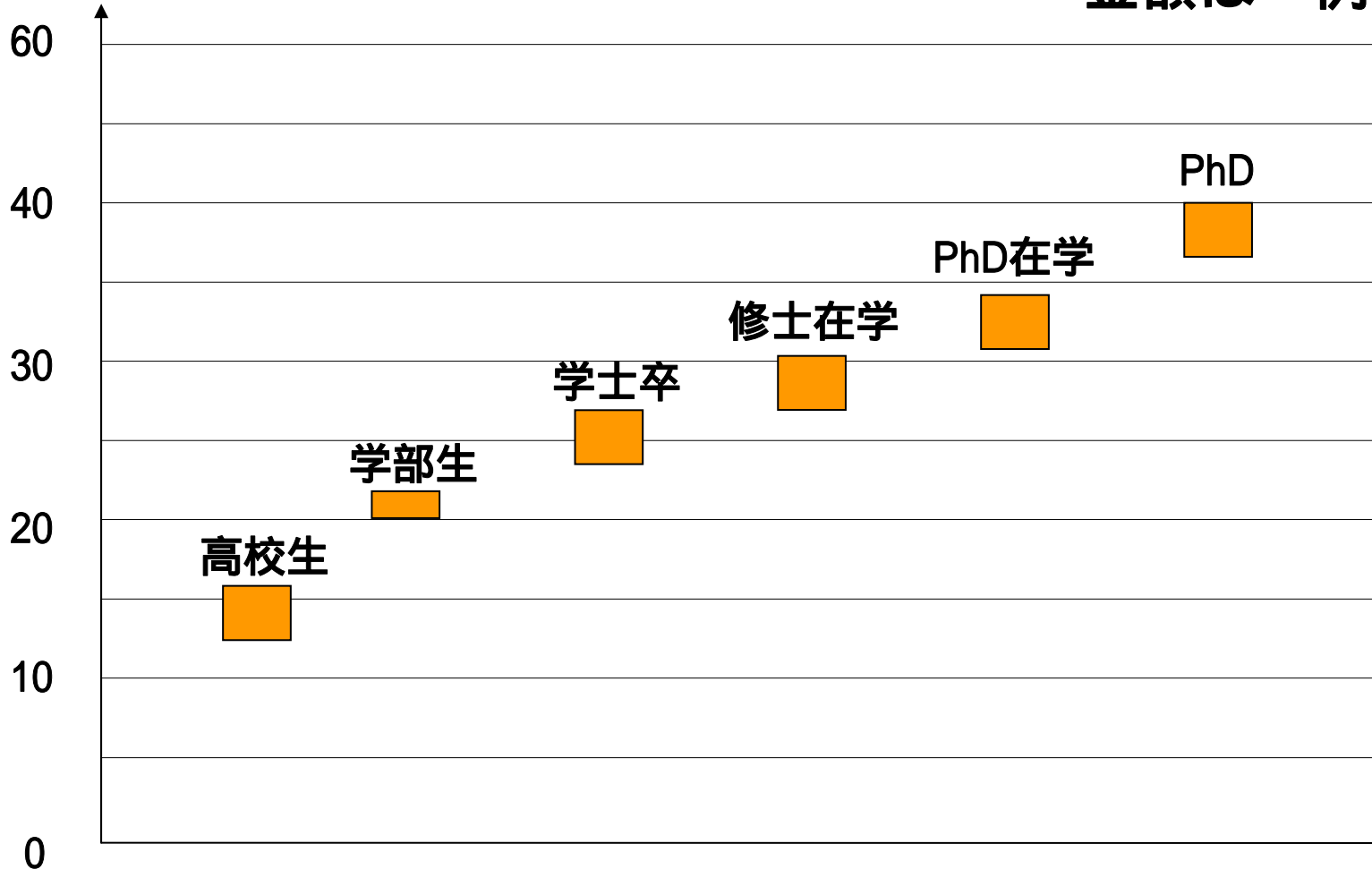
	2003年	2004年	2005年
米国	19	14	7
カナダ	3	4	4
中国	17	18	16
インド	6	12	6
韓国	1	1	1
エジプト	0	1	0
イスラエル	0	0	1
ドイツ	1	2	1
ギリシャ	1	3	1
オーストラリア	1	0	2
オランダ	1	1	0
ブラジル	1	1	0
ブルガリア	0	1	1
フランス	1	0	1
アイルランド	1	0	2
オーストリア	0	1	0
ベルギー	0	1	0
台湾	1	1	0
タイ	1	0	0
クロアチア	1	1	0
シンガポール	2	1	0
メキシコ	0	0	2
スイス	0	0	2
トルコ	3	4	4
ロシア	0	2	1
パキスタン	0	2	2
合計	61	69	63

ポルトガル,  
マレーシア,  
日本 各1名  
(その他6名確認中)

# MITのインターン給与相場

時給・US\$

金額は一例



# 我国のインターンシップ制度の課題

大多数の教員がインターンシップの効能を理解していない

短期の企業実習や単なる就業体験の物足りなさ

- ・1～2週間程度の短期実習では企業で成果をあげることができない
- ・短期では企業側もインターン採用のモチベーションが生まれない

学生の期待と実際のインターンシップとのミスマッチ

- ・日頃の研究が企業現場で生きることを体験することでモチベーションを高めたいと思う学生は物足りなく感じている
- ・企業の期待と学生の実力不足とのミスマッチ

低賃金

- ・昼食補助程度の賃金が技術軽視の風潮を生んでいる

万が一に備える保険制度の不備

- ・事故発生などのリスクへの対処が必要

# 当社国内研究所のインターンシップ実績

		2002年			2003年			2004年		
		1ヶ月未満	1～6ヶ月	6～12ヶ月	1ヶ月未満	1～6ヶ月	6～12ヶ月	1ヶ月未満	1～6ヶ月	6～12ヶ月
国内	学部	5	2	0	14	4	0	9	4	0
	修士	11	2	0	5	2	1	8	1	0
	博士	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	小計	16	6	0	19	6	1	17	5	0
国外	学部	0	5	2	0	2	1	0	2	1
	修士	0	0	1	0	1	0	0	2	0
	博士	0	2	0	0	0	0	0	1	0
	小計	0	7	3	0	3	1	0	5	1
合計		16	13	3	19	9	2	17	10	1



# 大学との人材交流

---

当社から大学教員への転籍：10～20名/年

法人化に伴う大学知財本部への転籍：～10名

大学教員の当社への転籍：きわめて少ない

当社から大学への派遣：10～20名/年

# まとめ

---

**産学連携は双方向に人が動かなければ  
始まらない**

**産から学への移動は容易、逆は難しい**

**まず、インターンシップの充実を図ること  
から始めるべき**